

秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 22 年 1 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

地震活動は低調な状態で推移しています。
 女岳北東斜面では、2009年8月に新たな噴気地熱域が確認された後、12月にかけて地熱域の拡大が確認されています。
 ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。
 平成21年10月27日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

- ・地震や微動の発生状況（図2）
- 火山性地震は少ない状況が続いています。
 火山性微動は観測されませんでした。

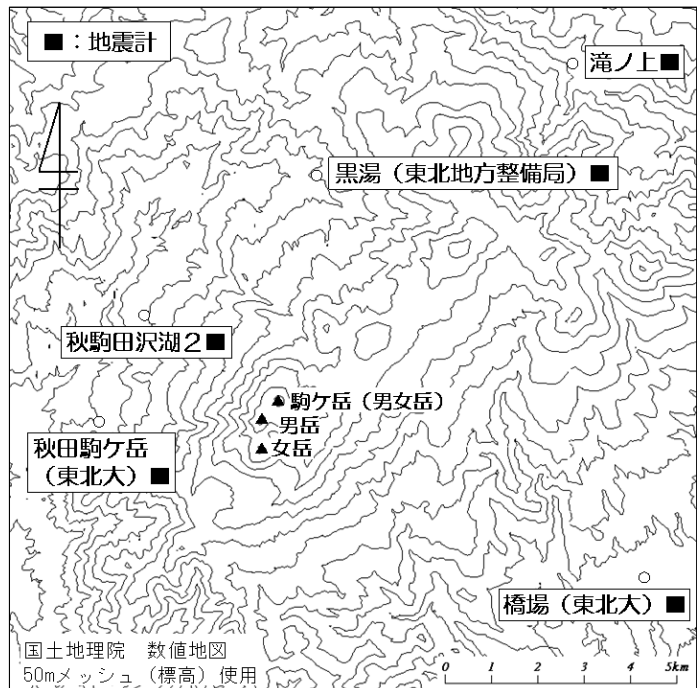


図1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

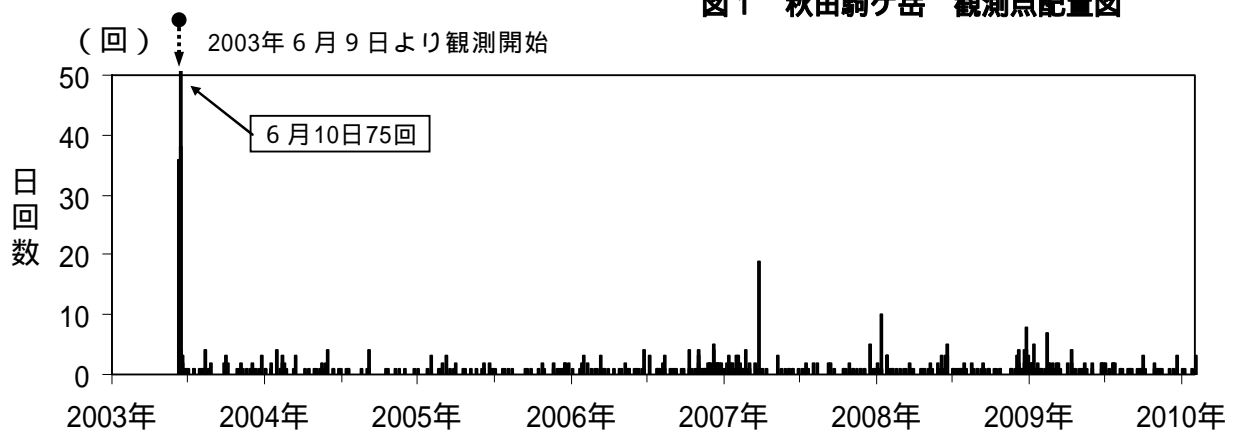


図2 秋田駒ヶ岳 日別地震回数（2003年6月～2010年1月）

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 2 月分）は平成 22 年 3 月 9 日に発表する予定です。

資料は気象庁のデータ他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。